

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	耐震性能評価小委員会		主 査 名：山下哲郎 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：大崎 純
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月 (2 年間)		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校体育館や類似の空間構造の耐震性に関する研究と地震被害をとりまとめ、地震後に避難所として機能するために必要な各種の性能を明らかにし、非構造部材も視野に入れた総合的な性能評価、改修方法を提言することを目的とする。 ・ 初年度；東日本大震災における空間構造物の被害事例や耐震補強事例を収集・調査し、体育館に必要とされる各種機能についても議論を進める。また建築学会大会においてパネルディスカッションを開催し、広く情報発信を行う。 ・ 2 年度；初年度の調査結果をもとに非構造部材も視野に入れた総合的な性能評価、改修方法をまとめ、「ラチスシェル構造設計指針 (仮称)」に反映する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：山下 哲郎 (工学院大学) 幹事：立道 郁生 (明星大学), 松本 幸大 (豊橋技術科学大学) 委員：石川 浩一郎 (福井大学), 加藤 史郎 (豊橋技術科学大学), 川口 健一 (東京大学), 竹内 徹 (東京工業大学), 中澤 祥二 (豊橋技術科学大学), 松岡 祐一 (新日鉄住金エンジニアリング), 諸岡 繁洋 (東海大学), 平塚 聖敏 (日本大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 東日本大震災の被害の収集、分析を進め、「東日本大震災空間構造調査報告書」および「ラチスシェル構造設計指針 (仮称)」に反映した。 2. 「ラチスシェル構造設計指針 (仮称)」の第 6 章 耐震診断・改修の執筆作業と内容の精査を進め、原案をほぼ完成させた。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 非構造部材等については種類が多すぎるため、それ自体の耐震性と安全性の評価については、前記指針案で第 7 章として評価耐震診断・改修とは切り離れたのが、構造体の地震応答と被害の関連については引き続き議論の対象とする必要がある。 2. 交通費の問題から、小委員会の参加者が在京委員中心である。